

新しい年がスタートしました。2018年も元気に楽しく過ごしましょう！  
さて、寒さも厳しくなり、インフルエンザの流行も心配な時期になってきました。本校では2学期にいろいろな感染症の発生がありましたので、御紹介します。

### 1. マイコプラズマ感染症

肺炎マイコプラズマが飛沫感染し、潜伏期間は1～4週間です。咳、発熱、頭痛等のかぜ症状がゆっくりと進行し、咳が徐々に激しくなります。しつこい咳が3～4週間続くこともあります。

### 2. RSウイルス感染症

飛沫感染や接触感染し、潜伏期間は2～8日です。発熱、鼻水、咳が主な症状です。年長児や成人では軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳幼児では重症化し、気管支炎や肺炎になることもあります。

### 3. アデノウイルス感染症

飛沫感染や接触感染し、潜伏期間は2～14日です。発熱、咽頭痛が主な症状です。眼症状（目の充血、目やに等）を合併すると、咽頭結膜熱（プール熱）と診断されます。



### 4. 溶連菌感染症

飛沫感染や接触感染し、潜伏期間は2～5日です。発熱、咽頭痛が主な症状です。発疹がでたり、舌がイチゴのように赤くザラザラとした状態になったりすることもあります。数週間後に腎炎やリウマチ熱を発症することもあるので、医師の指示通りに抗菌薬を服用することが大切です。

### 5. 感染性胃腸炎

ノロウイルスやロタウイルス、サルモネラ菌等が、経口感染や接触感染、飛沫感染し、潜伏期間はノロウイルスで12～48時間、ロタウイルスで1～3日、サルモネラ菌で6～72時間です。嘔吐や下痢が主な症状です。ロタウイルスでは時に便が白くなることがあり、サルモネラ菌では血便がでることがあります。症状が治まった後でも、数週間、便の中にウイルスや菌が排出されることがあるので、排便後の手洗いが大切です。

これらの疾患は出席停止となりますのでお知らせください。登校には主治医の許可が必要です。  
登校確認書は御家庭に送ります。

